

研究成果最適展開支援プログラム A-STEP ハイリスク挑戦タイプ（復興促進型）採択課題は以下の URL

http://www.jst.go.jp/fukkou/about/matching_kadai6.html

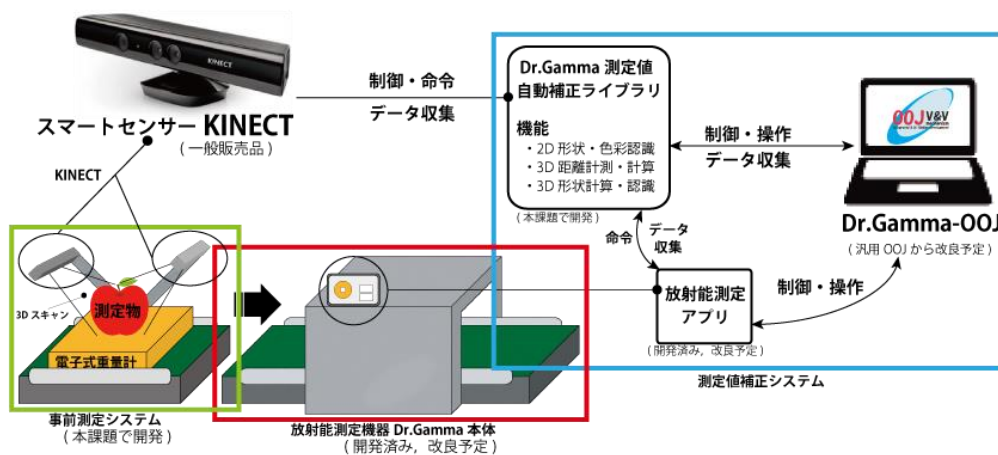
研究開発内容

風評被害を払拭するには、農水産物の安全性を信頼できる形でアピールする必要があるため、そのためには、流通する状態のまま、または近い状態での短時間での全数検査が必要である。非破壊全数検査の放射能測定器は既に弊社が開発・完成させた機器があるが、その測定結果に影響を与える幾何学的影響や自己吸収に関する情報を測定時の設定情報として与える必要があるため、そのための正しい測定方法や、測定者の技能が要求される。本課題では、こうした設定情報の付与を自動的に行い、測定精度向上のための研究開発を行う。

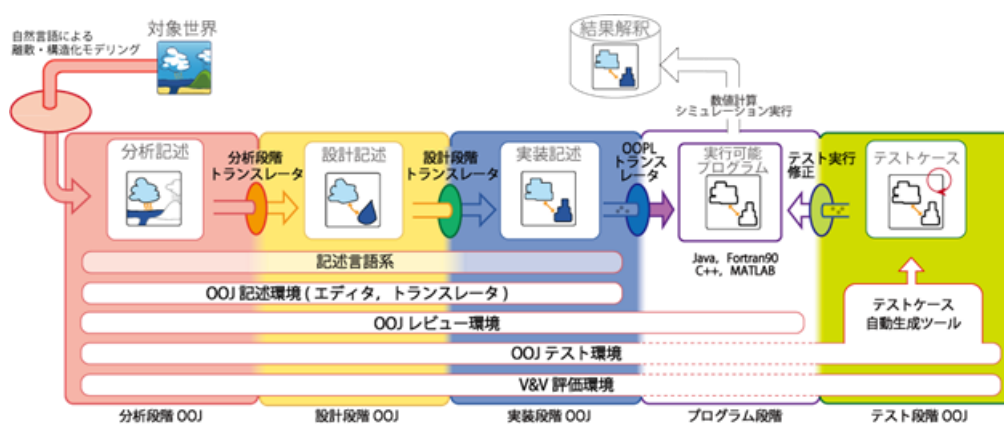
上記の研究開発のため、マイクロソフトから販売された多種のセンサーを持つ KINECT を使用し、測定物の種類や形状を識別し、また重量と体積による密度への算出を通して、測定器の検出効率の補正や測定時間の判定をおこなう機能開発を行う。このため、茨城大学で開発された開発環境 OOJ を改良して、KINECT 利用を容易にするためのライブラリ群を含んだ KINECT-OOJ を開発する。

KINECT について : <http://www.microsoft.com/en-us/kinectforwindows/discover/>

※リンク先の情報につきましては、ご利用者自身の責任の上でご利用ください。



本研究で開発するシステムの全体概念図



パーソナル・ソフトウェア開発システム OOJ 全体の概観